進路課通信
HOPSTEPJUMP

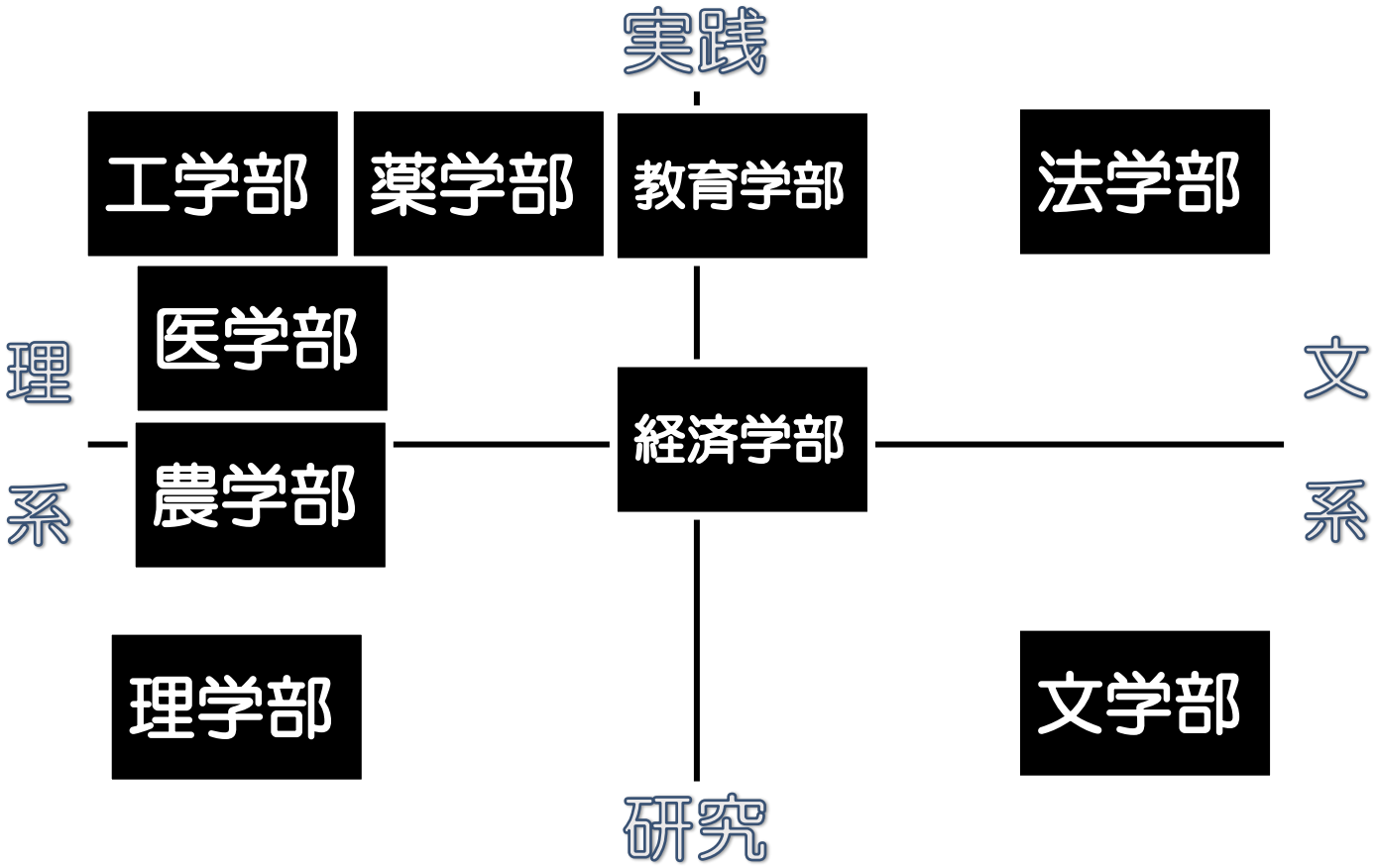
＝　第7号　＝
２０２０年6月１５日
新庄北高校
進路指導課発行
※１年次向けは、読みきれることを目的に、文字数を減らしています。

文理分けを考える紙面ガイダンス　１年次のみなさんへ　※保護者の方もご確認ください。

１２日（金）に実施した文理分けガイダンスでは、説明しきれなかったことがあります。紙面で伝えますので、よく読んでください。

■日本の大学の「学部」の仕組み■

大学には「学部」が設置されています。最近はカタカナの学部が増えてきましたが、伝統的にあるものを下のグラフにまとめました。



自分が希望する将来像があり、行きたい学部が明確な人にとって文理分けは、とくに悩むことではありません。しかし、多くの高校生は「もやもや」していることでしょう。それは特別なことではありません。文理分けと教科選択は、高校時代の大きな決断です。分岐ともいえます。納得のいく選択のため、**担任とよく相談**しましょう。

※表の補足「実践と研究」

実践は、社会と密接に関係した知識の習得をめざす、という意味です。その知識を身に付けた証として国家試験などで「資格」が取得できます。（例）弁護士免許、教員免許、医師免許、看護師免許　等。

研究は、系統的な学問の知識の取得をめざす、という意味です。高校までで学習している教科と同じ「学科」が設定されています。（例）文学部：国文学科・史学科　理学部：生物学科・数学科
また、〇〇学部▽▽学科にいかないと取得できない資格もあります。（例）薬剤師　等

農学部と看護･医療系は生物を選択してください。

■理科の科目選択■　　理系選択者へ

理科の科目選択は重要です。ポイントは「生物」が必要かどうか。理系の学問の多くは、「化学」と「物理」を基礎に考えられています。（工業化する、ということは化学と物理の応用ということ）。つまり、理系を選択した人は、基本は「化学」＋「物理」です。一方、生物が必要な理系学部は「農学部」と「看護・医療系（医学部看護学科）」「理学部生物学科」です。

■農学部と理学部生物学科■　　生き物が好きな理系選択者へ

話が少し大きくなりますが、人類は「生きる上で有用なもの」を研究の対象としました。その伝統を引き継ぐのが大学の学部です。人間にとって有益な生き物は、①家畜（牛、馬、豚）と②有用な植物（米、麦、大豆等）、です。①は獣医学部、②は農学部で学びます。昆虫や鳥類は？　これらの生き物は、人類に害をもたらす生き物（虫たちにかわいそうですが）ですので、一部の専門家が学んでいました。そのような流れで**①、②以外の生き物を学ぶのは「理学部（生物学科）」**です。理学部生物学科に進学を希望する場合は、大学や教授によって得意としている「分野」があります。少し調べてみるとよいでしょう。　※大学の HP やネット検索

学問の対象	学べる学部
有用な植物	**農学部**
家　畜	**獣医学部、畜産系学科**
その他の生き物	**理学部、水産学部**

■獣医学部という選択■　　生き物が好きな理系選択者へ

家畜は「世話をする、飼育する」技能と「管理する、治癒する」技能があり、前者は高等学科の農業系（〇〇農業高校等）や畜産学科がメインとなります。治癒するのは医学的な知識の取得が必要なための学部は「獣医学部」です。近年は、小動物（ペットとして家庭で飼われる動物）も多様化しており、動物病院の需要が増えていますが、設置している大学が限られているのが現状です。

※「動物が好き」という理由だけで獣医学部に進学するのは、「生死」や「医療の最前線」に直面するので、あまりおススメしません。入試の難易度も高く、覚悟がいります。

■農学部への理解度の違い■

「それは農学部では？」という進路希望を持ってくる新北生は例年多いです。農業をしている風景が住居の近くにあるため、「農学部→農家・農業従事者」というイメージを持っている人が依然多いようです。農学部で学ぶことは、「バイオ」「微生物」。田畑に出てフィールドワークではなく、実験室にこもって研究をする学部です。すこし拡大解釈をすれば、将来の人類にとって欠かすことができない「食物」や「農作物」を創造する人材を養成します。※国も農学分野には力をいれており、近隣では福島大学（国立）に農学部が創設されました（２０１９年）。

地歴の教科選択をどうするか？　文系の教科のなかでも

地歴の３教科を学習の内容で、分布させると、上記のようになります。**地理は、理系の要素が強い**のが特徴です。①計算がある、②自然のことを学ぶ、③様々な事象の原因を問う、ことが多いからです。対して、**日本史は文系の要素が強い**のが特徴です。①史料を読む（古典）、②文字（文章）を読む、③漢字が多い、ことが上げられます。新庄北高校では、文系選択者は３つの中から１つ、理系選択者は地理か日本史のどちらかを１つ選択します。それぞれ特徴を右にまとめましたので参考にしてください。なお、大学によっては受験時に「世界史でないとダメ」「地理は不可」といった受験科目の制限がある大学があります。主に地理が不可となるパターンです（文系のみ）。少し調べてみましょう。疑問な点は、各クラスの世界史Ａ担当の先生に聞いてみましょう。

（入試科目のよくある例）

首都圏の私立大学：青山学院大や立教大学の文系学部は、地理不可。

国際系の学部：日本史か世界史で受験　※学部によっては世界史を指定することもある。

■新庄北高校社会科監修　　教科選択のポイント■

科目	特徴（過去の先輩のつまづいた例をあげながら）
日本史	小学校・中学校で既習している分野が多く、取り掛かりやすい。経済史や文化史は、高校からの学習であるため、苦手とする生徒が例年多発する。学習するのは、年代順であるため学習しやすい構成。 文系の人へ・・・中学校でかなり多くの部分を学習してきており（おそらく６割くらい)、中学時に社会科の歴史分野が得意だった生徒にとっては、繰り返しになるところも多い。全国の文系学生の約半分が選択する。将来、日本史を研究したいという夢を持つ人、中学校や小学校の教員をめざす人は、選択するとよい。ただ、習得する語句が多く、近年は初見史料の読解や年表やグラフから読み取る新傾向問題も増加している。ただ歴史が好き、ではその学習の面白さを体感できないので、「知っているから」と安心せず、授業に集中してもらいたい。 理系の生徒で選択する人は、「日本史マニア」的な生徒が多く、授業時間数が少ないため、進度がはやい。２年次から理科が２科目となり、数学も内容が深化することを考えると、多くの時間を日本史学習にかけることができない。「歴史好きだったけど、進路希望が理系だから・・・」と歴史の学習に未練がある生徒はぜひとってもらいたい。そうでなければ、習得する語句が日本史よりは少ない地理をすすめる。
世界史	国際系の学部に進学する生徒は、選択することをおススメする。深すぎず、理論的すぎず、「社会科」の中でもバランスがとれている。ただ、他国の歴史とその交流が中心であるため、１つ分からないと連続でつまづくことが多々ある。文系のみの設置であるため、理系の生徒は選択できない。全国の文系生徒の３分の１程度が選択する。世界史を選択するパターンとして、「日本史が苦手だから」と「1 年次の世界史学習で得意になった」があり、前者は失敗するので地理をおすすめする。
地理	理系選択者の多くが選択する。各国の現状を学ぶ「地誌」と自然現象の根本を学ぶ「自然地理」に分けられる。グラフや表、統計地図（地図＋グラフ）を多様するため、「読み取って→考察する」、というパターンになる。または、その逆。歴史が嫌いだから、とい理由で選択する生徒が多いため、地域名や、産業構造や主な輸出品目などの学習でつまづいている生徒が例年多い。 文系の生徒へ・・・地理が好きだら、という生徒にぜひ選択してもらいたい。授業内容は、地図を書いたり、線をひいたりするものから、PC で処理されたものを見たりする。地名を覚えることより、①人が生活する営み、②人を生活させている自然の仕組み、の学習がメインであり、きわめて理論的に学ぶ。暗記というよりは「考える」科目である。社会が苦手だ、という文系の生徒は受験のことも考えると、日本史か世界史をおすすめする。 理系の生徒へ・・・全国の多くの理系生徒が受験科目にしている。初見問題が多いのが特徴であるが、「基礎知識なくして地理は分からない」という鉄則を忘れないでほしい。「地理なんて覚えること少ないだろう」と思って、日々の授業を軽んじると、「受験を地理で失敗する」という事態に陥る。理系の生徒にとって、地理の出来不出来はかなり深刻な問題である。決して難しい教科（難問で点差をつける数学のような）ではないので、基礎基本をしっかり積めば、大丈夫である。